

私の本棚

安瀨 聖司氏

▶「メタバース さよならアトムの時代」（加藤直人著、集英社）

人類には「ここでない世界」で「今と違う自分」になりたい、という願望があるようだが、遂に実現する世の中になった。メタバースだ。しかも、未来を変える巨大ビジネスになるというから見過ごせない。

本書は「メタバース」について

て、現在のブーム以前の2015年にメタバースプラットフォームを創業し、国内最大の規模まで拡大してきた立役者である著者が、ビジネスの現場からの知見も含め、メタバースの歴史、現状から未来までを、幅広く、情熱的に語ってくれる、まさに同時進行ドキュメントだ。

まず「メタバースとは何か」について、永続性やリアルタイム性を含む7つの条件に、身体性と自己組織化を加えて、分かりやすく定義してくれる。次に「メタバース市場とプレイヤーたち」の詳細な説明があり、イメージが湧いてくる。さらに人類史的観点やビジネスのケーススタディも興味深い。

著者の「メタバースはこれから私たちの社会や経済、いや、生活そのものを覆いつくす大きな波になる」という予言、いや、確信に対し、私たちはどんな想像や妄想を持てるだろうか。実に未来が楽しみになる。

